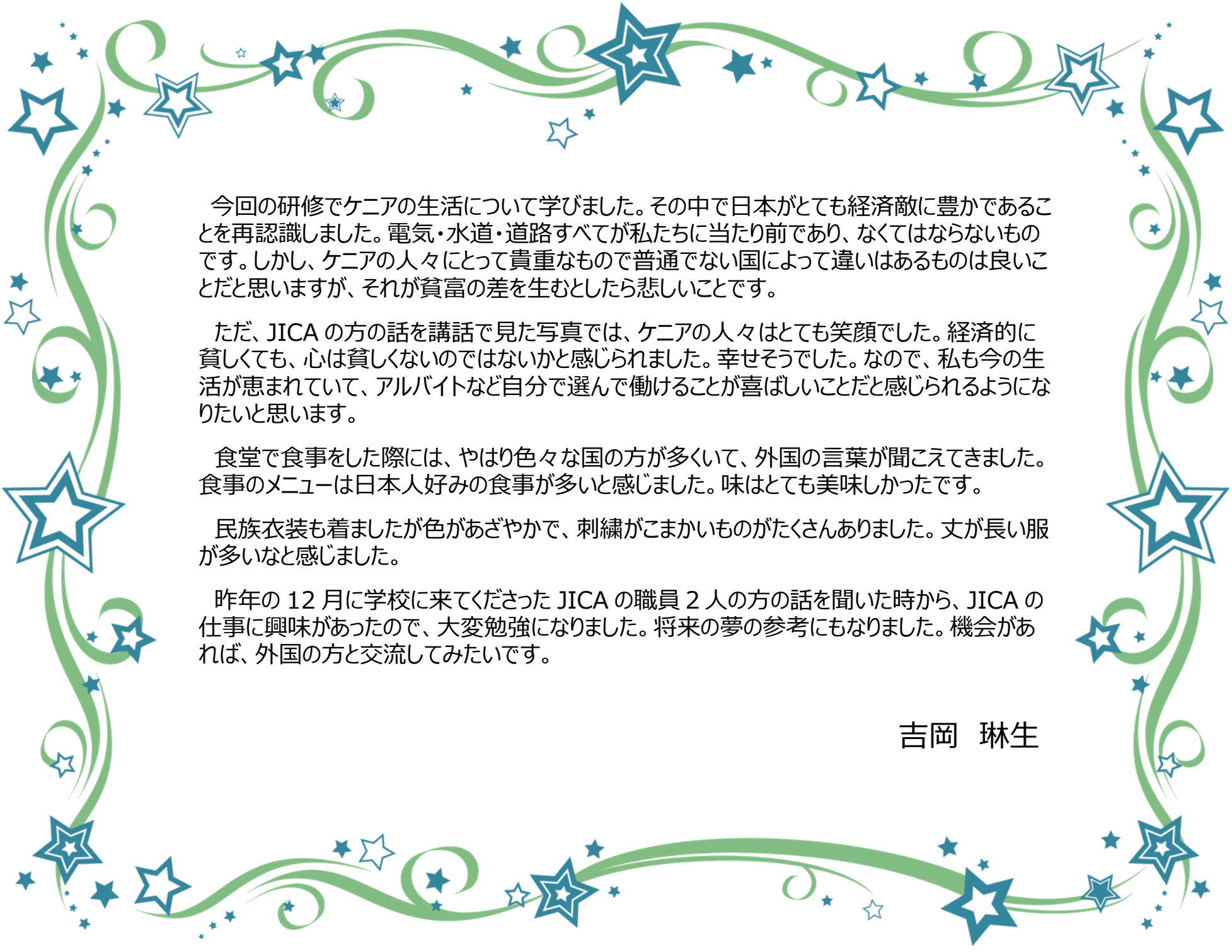




今回の研修でケニアの生活について学びました。その中で日本がとても経済的に豊かであることを再認識しました。電気・水道・道路すべてが私たちに当たり前であり、なくてはならないものです。しかし、ケニアの人々にとって貴重なもので普通でない国によって違いはあるものは良いことだと思いますが、それが貧富の差を生むとしたら悲しいことです。

ただ、JICAの方の話を講話で見た写真では、ケニアの人々はとても笑顔でした。経済的に貧しくても、心は貧しくないのではないかと感じられました。幸せそうでした。なので、私も今の生活が恵まれていて、アルバイトなど自分で選んで働けることが喜ばしいことだと感じられるようになりたいと思います。

食堂で食事をした際には、やはり色々な国の方が多くいて、外国の言葉が聞こえてきました。食事のメニューは日本人好みの食事が多いと感じました。味はとても美味しかったです。

民族衣装も着ましたが色があざやかで、刺繍がこまかいものがたくさんありました。丈が長い服が多いなと感じました。

昨年の12月に学校に来てくださったJICAの職員2人の方の話を聞いた時から、JICAの仕事に興味があったので、大変勉強になりました。将来の夢の参考にもなりました。機会があれば、外国の方と交流してみたいです。

吉岡 琳生